



今年も暑い!! 早朝も夜遅くも暑い!! 晴れてなくても暑い!! もうずっと、暑い!!
皆様、いかがお過ごしでしょうか?

先日梅雨が明けたと思ったら引き続き暑さが増し、**早速夏バテしてませんか?**
今や暑くない日なんてないですね。私が小さい頃、間違いなくこんな暑くはなかった・・・。
確実に年々暑さが増してますよね。
ただ私、最終的な結論は、そんな嫌じゃないかも、です。暑いなあ～とは思いますが、次に思うのは、「ああ、俺生きてるっ」という感じで、心地よく生を感じています。実はちょっと陽に当たりたいくらいの感じなのです。
トカゲ(ニホントカゲ・カナヘビ)も一緒ですよ。皆さま公園をよく見てみてください。わざわざ陽にあたりに来てるんです、トカゲは。・・・誰ですか、この人暑さで気が変になってるかもって思った人は? 誰ですか、**トカゲ男**って言った人は! (笑)



ということで、暑さに負けずに頑張っていきましょう!



でも本当にこの太陽の光、生き物の多くが、求めていますよね。当然ですが多くの植物は皆必要としていますよね。先程はトカゲの話でしたが、**カマキリ**なんかもそうですよね。ほとんどが日なたにいます。

また、うちに今犬がいるのですが、この**犬ちゃん**も、普段とても暑がりな子なのに、散歩行ったらあはあ言って帰ってきて、ちょっと休んだ後に、またわざわざベランダに行って陽に当たりに行くのです。

親しくしているワンちゃんのブリーダーさんがいまして、話逸れますが、このブリーダーさんは本当に良い人! いつも大変お世話になっています。で、この方が仰っていたのですが、この方の犬舎では、日々環境を良くすべく努力と工夫をされていて、**ワンちゃんみんな、日光浴をたくさんさせている**そうなのですが、他のブリーダー仲間の方でも環境的にほとんど室内で飼育しているワンちゃんがいるそうで、**結論、同じ犬種でありながら生まれてくるワンちゃんの数が違う**そうです。前者は多く、後者が少ない。ということも聞いたりしているので、基本的には太陽の光は大切なんだな、と自分は実感しています。



紫外線対策



ただ今は、**昔に比べ紫外線量が多くなっています。**
1990年以降、ゆるやかに紫外線量が多くなっているデータがあるそうです。
主な原因は、実はオゾン層の問題ではなく、雲量やエアロゾル(大気中に浮遊する液体や固体の微粒子)の減少が考えられています。
また人がその紫外線を浴びる環境も身の回りに存在しています。直接の直射光だけでなく、**アスファルトなどの地面や建物の壁などに反射した紫外線もある**のです。そしてこの反射光の方が直射光よりも射量が多いそうです。
なので、今はやはりこの**紫外線対策をしつつ、適度な日光浴をする必要がある**のです。



せっかくなので最後に、先程お話ししたうちの**ワンちゃん**の紹介をしますね!

柴犬の**“福”ちゃん**男の子です。2歳2か月になりまして体重は3.5kg。いわゆる豆柴、という犬になります。とにかく暑がり、この時期は本当に散歩がしんどそう。でも毎日散歩しています。ただ夏でも冬でも散歩に行こう! と言うと部屋の中で逃げることが多いんです。何でよっ。
ただ、行き始めると、もう1時間でもずっと散歩し続けちゃうんです。どっちなんだい! といった自分にとってはとっても可愛いワンちゃんです。

そしてなんと! この福ちゃんのおかげで私の毎年行っている人間ドックの数値が良くなりました! そうです、福ちゃんとの散歩のおかげなのです。食生活は全く変えていないのにオーバーしていたコレステロール値が正常値になったのです。なので要因は散歩しか考えられない。

今度はこの“散歩”に焦点を当ててお話ししてみたいと思います。そんな福ちゃん共々、今後とも宜しくお願い致します。

皆さま次号までお元気でいらしてくださいね!



福です! よろしくワン!



今月のテーマ

I パリ 2024 オリンピック開幕

- ★ オリンピック史上過去にない開会式
- ★ フランスの歴史・自然・文化など
- ★ 聖火リレーで紹介した68日間の旅から
- ★ レディー・ガガとセリーヌ・ディオンサプライズ!

II ～秀人のつぶやき～

2024年『夏』～秀人の国から8月版～

想いをのせて 感謝 ありがとう



アメリカ大統領選2024は、3ヶ月後に迫ってきた。

バイデン大統領は「**新しい世代にバトンを渡すことが最善だ**」と、7月21日朝、撤退を決定した。

バイデン氏にとって、50年におよぶ政治家人生の中で特に**厳しい決定の一つだった。**

もちろん決定するまでに自問自答し、その上で側近の要職にいる人達とビデオ会議を開いた。

米東部時間21日午後1時45分、大統領が発表した**声明はアメリカ政治に激震を走らせ大統領の展望を揺ら**がした。

撤退を発表した最初の声明文にハリス副大統領についての言及はなかったが、その約30分後、「**副大統領を支持する**」とバイデン氏はソーシャルメディアに書いた。

ファーストレディーのジル・バイデン氏は声明で、夫の撤退を支持すると表明した。**大統領が決心するに至った中で大きい要因となったひとつが、ジル夫人の助言だったと**されている。「**彼女は誰よりも(大統領を)信じて擁護して、常にそばにいた。結婚して50年近く連れ添ってきた人**にしか

できない。全面的に信頼されている人ならでは」の形でとジル夫人を担当する広報部長エリザベス・アレクサンダー氏はこう言った。



後継者指名から1週間
ハリス副大統領に「**勢い!**」

献金額は日本円で307億円、
超高感度で“逆転”している。

SNS動画も20時間で110万回以上再生されている。特徴的なのは、**献金額の66%が今回の大統領選が初めてだった人達によるもの**だった。

28日発表された世論調査(ABCニュース)で、ハリス氏46%、8ポイント↑、トランプ氏36%、4ポイント↓と発表されている。



一方、トランプ陣営

副大統領候補のバース上院議員の過去の発言「**子なしの猫好き女性**」に批判が殺到している。

夫の連れ子2人の母親で自分の子どもを産んでいないハリス氏を中傷し“**出産経験のない女性や独身の人**たち”を侮辱的に批判したものである。

米大統領選を巡る主な日程

2024年	3月5日	スーパーチューズデー (大衆投票のテキサス州やカリフォルニア州などで一斉に予備選挙を実施)
	25日	トランプ前大統領の不倫口止め料支払いを巡る事件で初公判
	5月20日	トランプ氏の機密文書事件で初公判
	7月15～18日	共和党大会(ウィスコンシン州ミルウォーキー) 党候補を正式に指名
	8月19～22日	民主党大会(イリノイ州シカゴ) 党候補を正式に指名
	9～10月	大統領候補・副大統領候補によるテレビ討論会
	11月5日	米大統領選投票
25年	1月20日	大統領就任式

アメリカは大統領選まで残り3ヶ月、今後のハリス氏とトランプ氏の**9月の政策論争で、中絶や減税、関税、ウクライナ問題や分断や戦争を今後どうしていくのかが焦点となる**だろう。

3ヶ月後の11月5日大統領選は政策論争の内容によって、**アメリカをどう導いて行くのが争点**となるだろう。

有権者は事前に登録した18歳以上のアメリカ国民だ。その人々が大統領にふさわしいと思う人に投票する。



増えるのは **税とぜい肉** 減る**ぜい沢**



信頼と実績で皆様に愛されて37年!
生命保険・不動産の売却・買い取り すべてお任せください!



株式会社 **ASADA**
オフィス

代表取締役 **麻田 春江**

住所: 〒302-0015 茨城県取手市井野台1-7-28 E-mail: officeasada220@gmail.com
TEL: 0297-72-2401 FAX: 0297-72-6217 URL: https://officeasada.com



I パリ 2024 オリンピック 100年ぶりに開催！



パリオリンピック～フランスについて紹介！



パリオリンピックの開会式が日本時間7月27日に行われた史上初の屋外での開会式

パリの街並み、文化を活かした演出に、フランス文化の重層性を感じた。途中で大雨となり「大丈夫かな？」と思ったが、想定内だったのかそれさえもドラマティックに見せるようなエンターテインメント力、芸術力を発揮していた。パリの街の重みも深みも感じた。



開会式に使われた曲の一つが、**国民的エンターティナーのジジ・ジャンメールの「羽飾りのトリック」**だった。(ジジ・ジャンメールは4年前に亡くなったので、追悼の意味もあったのかと思う) 芸術監督を務めたトマ・ジョリはまだ40代だが、本当に素晴らしい仕事をしたと思う。多くの人が感動し記憶に残る開会式だった。オープニングから間もなくこの曲を開会式でパフォーマンスしたのが、なんと**レディー・ガガ**だった。レディー・ガガというザ・アメリカンカルチャーの象徴みたいな人だ。この大舞台でアメリカのレディー・ガガを招聘(しょうへい)するという国籍や民族、出生地にこだわらないこれが今回の開会式を象徴していたと思う。



聖火リレー

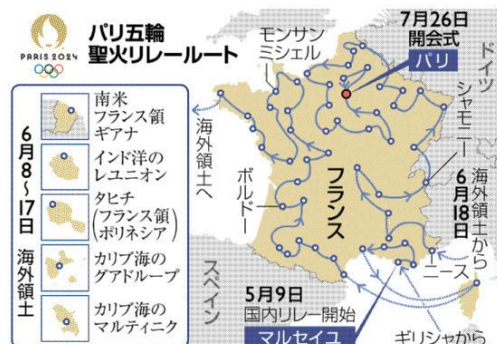
フランスの歴史とその背景にいる人々を紹介する旅

聖火はギリシャ・オリンピアで採火された後、2024年4月16日にオリンピアを出発し、アテネを経由して5月8日にフランス・マルセイユに到着する。そこから1万人の聖火ランナーが聖火をつなぎ、68日間をかけてフランス本土及び海外県・領土の歴史的な名所やフランス全土を巡る壮大な旅に出発する。

パリ2024オリンピック大会組織委員会は6月23日(金)、**ピエール・ド・クーベルタン男爵が近代オリンピック創設**のスピーチを行った歴史的かつ象徴的な場所であるソルボンヌ大学において、オリンピック聖火リレーのルートを発表した。(クーベルタンの言った「参加することに意義がある」という言葉は有名である。)

「先駆者たちのリレー」とも呼ばれるこのリレーは、歴史、雄大な景色、専門性、伝統、才能、クリエイター、イノベーターなど、フランスの美しさと多様性に光を当て、前回フランスでオリンピックを開催されてから100年の時を経て、再び夏季オリンピックを迎えることを知らせる。

そして単にフランスを巡るだけでなく、遺跡や風景、博物館、アート、人々など、私たちの国の素晴らしさを伝えるものでもあり、大会会長のトニー・エスタングは語った。



パリ2024オリンピック聖火リレー フランスの歴史と自然に焦点をあてる



オリンピック聖火リレーは、フランスの歴史を旅する機会となる。聖火は、洞窟壁画で知られるラスコー洞窟(フランス南西部)、中世の要塞カルカソンヌ(南仏オクシタニー)、ヴェルサイユ宮殿、ロワール川の古城などの歴史的な名所をめぐるほか、国内外で広く知られている**モン・サン・ミッシェル(ノルマンディー地方)**などを含む教会や修道院などの傑出した建築物にも光を当てる。

さらに、そのルートの中で、フランス文化に影響を与え貢献した人物も紹介する。

- **ジャンヌ・ダルク**：百年戦争の英雄…オルレアン(パリの南130km)
- **ロベール・シューマン**：欧州連合および欧州議会の創設者のひとり…スシー・シャゼル(フランス東部)
- **シャルル・ド・ゴール**：第2次世界大戦中の自由フランスの指導者、フランス元大統領(1959年～1969年) …コロンベ・レ・デュ・エグリーズ(フランス東部)
- **エディット・ピアフ**：歌手…パリ

他には、映画祭の街・**カンヌ**やワインで有名な**ボルドー**や**ブルゴーニュ・ロワール**といった高い評価を得ているブドウ畑めぐり、地域に根ざす食文化やフランスの美食を称える。

土木工学の傑作ともされる**ミヨ橋(南仏)**も聖火を迎え、そこから7,000km先にある、フランスとヨーロッパの航空宇宙産業の粋を極めた**ギアナ宇宙センター(南米大陸北東のフランス領ギアナ)**へと向かう。



フランスの歴史を作った10人の女性 開会式で紹介

パリオリンピックの開会式で、セーヌ川の川沿いに、フランスの歴史を作ったとされる10人の代表的な女性たちの像が登場した。今回のオリンピックは、フェミニズムを強く打ち出している。では…現在のフランスの礎を築いた偉人とはどのような女性たちなのか。(書面の関係上で1名だけ掲載します)

【シモーヌ・ヴェイユ】(1927年～2017年)

フランスの政治家。ホロコースト生存者。16歳の時、ユダヤ人として家族と共にナチス・ドイツに連行され、アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所に送られる。両親と兄を失い、姉とシモーヌだけが生還した。



戦後、パリ大学で法学を専攻。1974年、ジスカール・デスタン大統領のもと保健相として、人工妊娠中絶を合法化する法案を国民議会に提出。反対する圧倒的多数の男性議員を前に「喜んで中絶する女性はいません。(中絶が悲劇だと確信するには)女性に聞けば十分です」と演説し、中絶法(ヴェイユ法)を勝ち取り、女性解放の道を切り開いた。女性初の欧州議会議長。

今回のパリオリンピックは史上初めて参加する選手数が、男女同数となる大会。スポーツ、文化、芸術のみならず、あらゆる分野でのジェンダー平等の実現に向けて、こうした女性先駆者の努力があったのである。特に、妊娠や中絶をめぐって女性が自ら決める権利があるとする運動は、国連が提唱する**セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(SRHR:性と生殖に関する健康と権利)**に通じ、女性の自立的な生き方を支えている。



気球の聖火台 夢とメッセージを乗せた挑戦

聖火リレーの最終走者のティディ・リネールさんらによって聖火台に点火された。気球に似た聖火台はゆっくりと上空に浮かび上がった時、人々は驚きそして感動した。炎は、化石燃料は使わない、水と電気の炎なのだ。霧状の雲を出現させたところに強力な光を当てると、生き生きとした温かみのある炎となる。パリオリンピックプロジェクトとして、フランス電力のチームが3年がかりで開発したのだった。ルーブル美術館が続くチュイルリー公園。つまりパリのまん真ん中と言える場所に気球の聖火台はあり、オリンピック期間中ずっと炎は絶えない。そして、パリの何処からでも見える。



開会式のフィナーレは セリーヌ・ディオンがエッフェル塔から！

輝くエッフェル塔から美しい歌声が…ライトアップされたその中に突如現れた美女は?!

4年前からステップパーソン症候群で活動を休止していたセリーヌだ。

「セリーヌが復活したのだ!!」と誰もが歓喜の声をあげた。フランス国民なら誰でも知っている「愛の讃歌」をセリーヌは素晴らしい歌声で熱唱した。

パリの人達は大きな歓声と感動を胸にセリーヌと一緒に歌った!涙を流しながら…

